

A large crowd of people is gathered for a parade, with many colorful balloons floating in the air. The scene is festive and celebratory, with people of various ages and backgrounds. The balloons are in shades of blue, orange, green, yellow, and purple. In the background, there are buildings and trees, suggesting an urban setting. The overall atmosphere is bright and cheerful.

TRC 報告書

虹色どまんなかパレード実行委員会

団体概要

団体名

虹色どまんなかパレード実行委員会

団体概要

虹色どまんなかパレード実行委員会は、2012年に名古屋初となるLGBTパレードを開催するために発足した実行委員会です。

以降、昨年まで毎年秋に虹色どまんなかパレードを開催しています。

10人程度いる実行委員会メンバーを中心に、名古屋を中心に活動するセクシャルマイノリティ関連団体やボランティアスタッフの協力を得て活動しています。

広報について

主なタッチポイント

①ホームページ

<http://nijipare.proudlife.org/>

②SNS

twitter

<https://twitter.com/nijipare>

Facebook

<https://www.facebook.com/domannakaparade/>

虹色どまんなかパレードおよびNAGOYAレインボーウィーク

企画概要

①虹色どまんなかパレード

虹色どまんなかパレードは、2012年から毎年秋に名古屋で開催してきたセクシュアル・マイノリティ(LGBT)の存在をアピールするパレードです。

「ここにもいるよ」「ひとりじゃないよ」「もっと知ってほしい」という三つの言葉をテーマに5回目となるパレードを2016年9月16日に開催。これまでの4回は、セクシュアル・マイノリティのコミュニティが多く存在するエリアの公園を主会場に、久屋大通・大津通一帯をパレードする企画として運営してきました。

昨今、セクシュアル・マイノリティに対する社会的関心が高まってきたため、2016年は、より多くの市民にアピールできるように会場を一般の方が多く集まる場所に移し、規模も大きくして開催。

パレードに併せて名古屋の商業地区にあるナディアパーク2Fアトリウムにて、ダンスパフォーマンス、トークなどのイベントを開催。

●ダンスパフォーマンス

シークレット・ガイズ(スターダストプロモーション所属のFTM[元女性のトランスジェンダー男性]アイドルグループ)をメインに、NSM=、虹組ファイブ、などのLGBTグループによるダンスパフォーマンス。



虹色どまんなかパレードおよびNAGOYAレインボーウィーク

●トークショー

漫画家・新井祥さんをゲストに、LGBTフレンドリーな街について考えるトークショー。LGBTフレンドリーな名古屋市議員も登壇。



②NAGOYAレインボーウィーク

2016年9月17日に開催の「第5回虹色どまんなかパレード」から9月25日までの期間を「NAGOYAレインボーウィーク」と設定して、名古屋・東海地域において、LGBTが暮らしやすい地域づくりや就労機会の拡大を図る。

レインボーウィークにむけて、LGBTに対する不当な差別を行わず企業活動を通じてLGBTが暮らしやすい地域づくりに貢献することを表明する「LGBTフレンドリー宣言」をする企業をひろげ、企業として従業員や顧客に対してできる取り組みを明示してもらう。



宣言をした企業には、「LGBTフレンドリー宣言ミニフラッグ」を贈呈するとともに、虹色どまんなかパレードへのブース出展やレインボーウィーク期間中に大小様々なイベントやキャンペーン(店内にレインボーフラッグを掲げるなどの簡単な取り組みでも可)を行ってもらえるよう働きかける。また、当事者団体等にも期間中にイベント等を実施してもらうよう働きかけ、キャンペーンを盛り上げていく。

虹色どまんなかパレードおよびNAGOYAレインボーウィーク

●「OUT IN JAPAN」写真展(9月17日～25日/ナディアパーク7階7thカフェ)

LGBT当事者のポートレート写真展。

●講演会、グループミーティングなど

ピアフレンズfor boys(18日)、講演会「聞こう、話そう、LGBT!」(19日)、ま→ぶる(24日)、石川大我トークイベント(24日)、FTM諸事情カフェ(25日)など。



●「LGBTフレンドリー宣言」企業

なんらかのLGBT施策に取り組む東海地方の43の企業・団体が「LGBTフレンドリー宣言」を実施。LGBTが働きやすい環境づくりをすすめる会社(運輸業、印刷業 など)、同性カップルでも利用しやすい飲食店、LGBTであることを隠さず安心できる法律・医療などの相談機関、様々な業種の企業・団体が賛同。

企画を実施するためにかかる総費用

申請時に提出をしていた概算コスト

虹色どまんなかパレードおよびNAGOYAレインボーウィーク関連予算のうち、企業等への啓発のために新たに必要となる予算480,000円を、プロジェクト予算とする。

会場費	180,000	ナディアパークアトリウム賃借料 1日100,000円 ステージ設置料 80,000円 LGBTフレンドリー宣言企業の紹介ブースの設置等、虹色どまんなかパレードを例年とは違った内容で広く市民に啓発するため、商業施設のオープンスペースを借りて開催する。
設備費	50,000	会場音響機材賃借料 50,000円
資材購入費	50,000	会場設営の資材費 50000円 企業ブースの作成や看板の設置などのための資材費
印刷費	120,000	プロジェクト紹介リーフレット印刷費 20,000円 ミニフラッグ作成費 500円×200個=100,000円
委託料	50,000	リーフレット、ミニフラッグ デザイン費 50,000円
交通費	30,000	企業への働きかけ等に要する交通費 30000円
合計	480,000円	

TRCにて寄付として受け取った金額 779,830円

寄付の使い道はP12をご覧ください。

企画の成功度を測るKPI

企画の成功度を測るKPI(目標)

●虹色どまんなかパレード

来場者数：2000人

パレード参加人数：1000人

●NAGOYAレインボーウィーク

LGBTフレンドリー宣言企業(店舗数)：50

NAGOYAレインボーウィーク参加者：1万人(参加者及び協力者)

NAGOYAレインボーウィークのイベント数：40個

企画の成功度を測るKPI

実際の達成度

●虹色どまんなかパレード

来場者数：約1000人 達成度約50%

パレード参加人数：約500人 達成度約50%

●NAGOYAレインボーウィーク

LGBTフレンドリー宣言企業(店舗数)：43 達成度86%

NAGOYAレインボーウィーク参加者：約2000人 達成度20%

NAGOYAレインボーウィークのイベント数：17個 達成度42.5%

企画の成功度を測るKPI

達成度に関して、当団体としての見解

虹色どまんなかパレードについて、昨年までの会場はセクシャルマイノリティコミュニティの多い地域にある公園を使用していたが、今年は名古屋の中心で人の多く集まる商業地域の施設及び公園での開催となった。

名古屋では他県転入者よりも地元出身者が多いため、パレードやイベントへの参加によるアウティングを懸念して参加を見合わせたケースが聞かれた。

昨年と比べると、参加人数は3割ほど増加していることを考えると、会場変更による伸び悩みはあるが活動による成果は出ていると思われる。

イベントの様子



メディア掲載情報

ピラや記念撮影

13日夕には、名古屋クラ
ンバスのシュロブスキー監
督らが豊田市の名鉄豊田市
駅前までピラを配った。

ピラには今後の試合の案
内とともに「このままでは
終われない」というメッセ
ージ。

監督と選手4人が、帰
宅途中の学生や会社員に
「応援に来てほしい」と
呼びかけ、ピラを渡した
り、一緒に記念撮影をした
りした。

LGBTへ理解 パレードで訴え

あま名古屋
性少数者（LGBT）
への理解を求める「虹色ど
まんなかパレード」が17
日、名古屋市中区の栄・矢
場町一帯で開かれる。パレ



昨年のパレードの様子＝虹色どま
んなかパレード実行委員会提供

自分らしくカラフルに

ピラ中

虹色どまんなかパレード
性的少数者への理解呼び掛け



「こも電、通電40年で完結
たいきり開催」

「最近の
動き」

「中学ゴルフ 団体で36



通風筒

◇…同性愛
や性同一性障
害などの性的
少数者（LGB
T）の存在をアピ
ルする「虹色どまんな
かパレー
ド」が十七
日、名古屋
・栄であ
り、当事者
や賛同者ら
三百人が思
い思いの姿
で街を歩い
た＝写真。

◇…参加
者は「自分
に素直に」
と書かれた
プラカード

を掲げたり、性の多様
さを象徴する虹色の服
をまったり。久屋大
通などをゆっくり進み
ながら、軽快な音楽に
乗せて「LGBTはあ
なたのそばにいます」
とマイクで呼び掛け
た。

◇…二〇一二年から
パレードを呼び掛ける
実行委の安間優希さん
（右）は「街の理解も年
々進んでいる。もっ
と、自分らしく生きら
れる社会になるとい
い」。少数者とはい
え、その思いは響き、
沿道から和やかに手を
振る人も決して少数で
はなかった。

LGBTへの理解を求めて、パレードする参加者 たち＝17日午後、名古屋市中区、川津陽一撮影



LGBT理解「当たり前」

名古屋でパレード 1000人参加

同性愛者や性同一性障害者といった性的少数者（LGBT）への理解や支援を訴える「虹色どまんなかパレード」が17日、名古屋市中区の栄・矢場町一帯であった。ステージイベントも含め、約千人（主催者発表）が参加した。

パレードの参加者は、「名古屋にも好きな人を愛する権利を」と書かれたプラカードやLGBTのシンボルカラー、虹色の旗などを持って、久屋大通や大津通を約1時間半かけて練り歩いた。

アライ（LGBTの支援者）として参加した三重県四日市市の大学生、佐藤映美里さん（20）は「LGBTへの理解が当たり前になればいいなと思います」と話した。

（日高英輝）

寄付の使用用途

管理番号	大項目	内容	金額	領収書有無
1	会場費	イベント会場費及びステージリース費用	¥216,000	有
2	リース料	イベント会場設営備品のリース費用	¥414,396	有
3	広告宣伝費	パンフレット印刷費	¥152,493	有
4	広告宣伝費	リーフレット印刷費	¥3,453	有
5	広告宣伝費	ポストカード印刷費	¥4,111	有
合計			¥790,453	

領収書は別添資料Aをご覧ください。